

いのちの水を守る市民の会ニュース no.1

11月17日 | 4時30分 4F

「PFASからいのちの水を守る各務原市民の会」発足時の要件に基づき、市に申し入れをします。申し入れ事項は、いのちの水を守る会初のチラシ「浅野市長の責任を問う」にある提言6項目です。
副市長・水道部長・健康福祉部長が対応されるとのことです。
また水道料金に関しては、議会に請願書も出したいと思います。

9月17日のPFAS学習会で“PFASからいのちの水を守る各務原市民の会（略称：いのちの水を守る会）”の立ち上げを報告し、会員にとの呼びかげに応えてくださってありがとうございます。

あれからもう2ヶ月が経とうとしています。

共産党市議団の「血液検査を希望者に行え」という交渉に、市は行わないと即答。国も「行わない」と統きました。その後の様々な交渉にも、態度は変わりませんでした。市民の健康に向き合うことが行政の仕事である筈です。ですから本來ならば、市や県・国が行うことだと考えます。

みどり病院と京都大学の協力、申し出によって血液検査が行われる事になり、9月17日に10月14日説明会10月21日血液検査実施と報告がありました。

健康実態を掴むために、この血液検査に 許される一杯に参加してもらう事が重要だと、“いのちの水を守る会”的な発起人（共同代表者）は考えて行動してきました。

血液検査無事終了 20代～90代 約130人採血



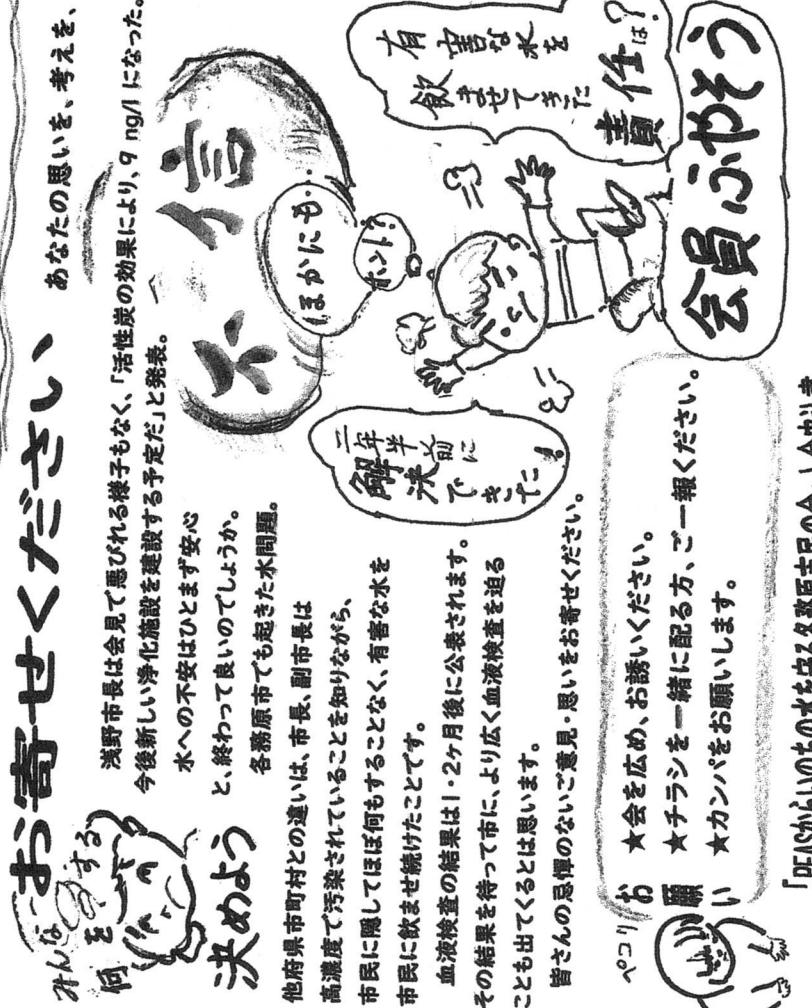
混雑を避け、みどり病院から事前に知らされた時間帯毎に、14時から受け付けが始まりました。

本人確認、血压、身長、体重を測り、血液検査へ。

16時30分ころ終了。

マスクの取材もあり、関心の高さがうかがえました。

申し入れをします



「PFASからいのちの水を守る各務原市民の会」入会申込書

氏名		
住所	〒	
電話		
メール		

下のQR
コードから
申し込めます



いのちの水を守る会

no.2

12月14日13時から30分間という短い時間でしたが、市へ2回目の要請をしました。今回は医療から検査報告と要請、「いのちの水を守る会」から「子どもたちを含めた血液検査・健康調査を行うことや市民に健康不安に対する対応を設置することなど8項目」を要請。その結果



みどり病院と京都大学の協力によって行われた血液検査の結果が、11月末には各個人へ連絡されました。更に12月4日 分析者の原田浩二先生・採血を実施してくださいましたみどり病院院長松井一樹先生・土井正則事務局長・いのちの水を守る会で結果報告の記者会見をしました。

深亥リナゴ汚染

沖縄や東京多摩地域よりも
血液検査(20代~90代 131人採血)の結果を PFAS 血中濃度の集約し他地域調査と比較しました。
「・三井水源地の配水地域の参加者の血中濃度は、東京多摩地域で最も平均濃度の高かった国分寺市、沖縄市の宜野湾市豊友名地域と比べても、PFOSなどの濃度が高かったです。
・東京多摩地域で最も低かったハ王子市の血中濃度と比較して 西市場・小網水源地でもやや PFOS・PFHxS が高い可能性があり得る。」 原田浩二先生報告より

更に平均値で比較検討を進めてみると、

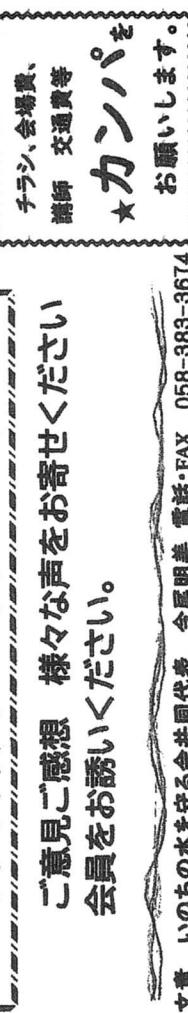
- ・三井水源地の PFOS 血中濃度は 小網・西市場・岐阜市・岐阜市 2.7 ~ 3.0倍高い。
- ・PFOS + PFOA の値は、三井水源地は小網・西市場水源地・岐阜市 2.4~2.8倍高い。
- ・米国アカデミーの基準(PFOS・PFOA 合計値 20ng/ml)以上の方が 73 名で 70 %以上の割合となり、機械的に当てはめると全三井水源地利用者の 5 万人ということになる。
- ・PFHxS の血中濃度が高いことから自衛隊基地の消防剤による土壤・地下水汚染が疑われる。

(別紙の結果表をご覧ください)

学校等公共施設に
設置の浄水器撤去

市は12月 PFAS 検査値が減ったからと学校等公共施設から子どもたちの安心安全の為には 増設が望まれる浄水器なのに取り扱いました。

ご意見ご感想 様々な声をお寄せください
会員をお誘いください。



チラシ・会場費、
講師 交通費等
★ カンパを
お願いします。

文責 いのちの水を守る会共同代表 今尾明美 電話・FAX 058-383-3674

●PFAS汚染問題 第2弾！

各務原市民のPFAS血中濃度は
深刻な汚染 沖縄や東京多摩地域よりも
73%の人が基準値(20ng/ml)を超える
(*・20ng/mlは米国アカデミーの基準値)

各務原市・三井水源地利用者100人の血液検査の結果

	PFOS	PFOA	PFHxS	PFNA	PFOS+PFOA	4PFAS合計
平均 (ng/ml)	26.0	6.3	28.3	6.8	32.2	67.3
最大 (ng/ml)	107.9	15.6	67.7	23.9	121.1	199.9
20ng/ml以上の人数 (%)	58人	10人	62人	1人	73人	91人

PFAS血液検査から見えてきたこと！

●三井水源地利用の市民7万2千人の内、健康リスクを抱える市民が5万人ほどいると推定できます。…この事態に私たちはどうすればよいのか？

- ①PFASの血液検査を通常の健康診断できるようにする。基準値20ng/mlを超える人は医者に相談しながら健康観察を続けていくことで健康リスクを下げる。
- ②PFASの血中濃度の基準値の設定を国に求める。
- ③PFASをできる限り体内に取り込まないようにするために市に浄水器の設置やペットボトル購入の補助を求める。

厚労省はPFASの一つ「PFHxS」を水質規制の対象に決めました。
「PFHxS」は泡消火剤に多く含まれています。

上記の血液検査データの中で「PFHxS」値が62.0%と一番高いことに注目。「いのちの水を守る会」入会QRコード

PFAS汚染からいのちの水を守る各務原市民の会
2024年1月発行 略称「いのちの水を守る会」

問合わせ先
各務原市新郷台5-140 三戸 光則
☎ 080 5160 4462

新情報

昨年暮、アメリカと中国の大学研究チームが、PFASが環境中のDNA分解を促進、生態系に悪影響を与えると科学誌に発表した。PFASの脅威が日ごとに明らかにされつつある中、目標値より下がったから「大丈夫だ」と思い込んではならない。

PFOSは「発がん性物質認定」 (世界保健機構)

WHOのIARC(国際がん研究機関)はPFASの一つである「PFOA」の発がん性分類を2段階上げ「発がん性がある」とし「PFAS」を1段階上げ「発がん性の可能性がある」としました。

PFASの毒性が日ごとに明らかにされる中、アメリカは4ng/Lに、デンマークは2ng/Lと規制を強めています。日本のPFAS規制値50ng/Lが、適正かどうか見直しが迫られています。

12月議会、PFAS問題の「請願」を否決

各務原市12月議会は①PFAS汚染対策費を水道料金に転嫁しないこと、②水道料金を減額すること③希望する市民に血液検査を、④国に対して暫定目標値を米国並みに要請などの「請願」を不採択としました。

各務原市議会のPFASに対する危機感と市民に寄り添う姿勢が無いことを露わにしました。
●請願に反対した会派「政和クラブ」「懇清会」「公明党」「無会派」
●請願に賛成した会派「日本共産党」「チームみらい」

私たちの運動が行政に変化の兆しを生む

血液検査の結果を受け12月4日「いのちの水を守る会」と市との懇談会において市は「健康相談の窓口設置」や「市独自の血液検査」の検討などの発言があり、從来にない姿勢を見せました。
また、12月初め教育委員会が行った学校などの浄水器撤去も再設置させ、厚労省がPFASの一つ「PFHxS」を規制対象に加えましたが、これも4日に公表と迅速に対応しました。
市民が声をあげることの大切さを教えています。

新情報

13

PFAS汚染からいのちの水を守る各務原市民の会

●市長の重大な責任

- ① 3年にわたって三井水源地のPFAS目標値50ng/Lを超える測定値を知りながら公表しなかったこと。
- ② この間、市民に対してPFAS汚染対策を何も取らなかつたこと。
- ③ 公表後もPFAS汚染水を流し続けてきたこと。
- ④ 厚労省の下記の指針にさな従っていないかったこと。

厚生労働省では、水道水について、2020年にPFOS、PFOAを水質管理目標設定項目に位置付け、当時の科学的知見に基づき安全側に立った考え方を基に、PFOSとPFOAの合算値で50ng/L以下とする暫定目標値を定めており、飲料水中のPFOS、PFOAが暫定目標値を超えることがないように水道事業者等による管理をお願いしています。
(環境省・PFASに対する総合戦略検討専門家会議のQ&Aより抜粋)

●PFAS問題に関する「いのちの水を守る会」の提言

1. 市はPFAS汚染対策の費用を水道料金に転嫁しないこと。
2. 市は水道料金を引き下げるのこと。
3. 市は、国や県と協力して、泡消火剤を大量に使い続けってきた岐阜基地の土壤調査などをを行い、汚染原因を究明し対策をとらせるること。
4. 市は、安全な水源地設置のための「専門家会議」を設けること。
5. 市は、国・県に対し血液検査・分析ができるように求めること。
6. 市民に向けPFASに関する最新の科学的知見を広めること。

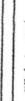
●「いのちの水を守る会」に入りませんか

私たちはPFAS問題に無関心では子どもや孫たちの命と健康は守れないとの思いで「PFAS汚染からいのちの水を守る各務原市民の会」(略称「いのちの水を守る会」)を立ち上げました。各務原市民の皆さんと一緒に、PFASとは何かを学び、国や県、市等に向け建設的な意見や声を上げていきませんか。入会の申し込みは右欄のQRコードから下記の問合わせ先(三戸)までご連絡下さい。

問合せ先
各務原市新端沼台5-140 三戸 光則
☎ 080 5160 4462



PFAS汚染からいのちの水を守る各務原市民の会
2023年1月発行 略称「いのちの水を守る会」



人体に
有害な
PFASは
有害物質
です。

● PFASによる健康リスクの高まりが科学的に明らかになるにつれ規制が強められています。

● アメリカはPFAS規制値を法的拘束力のある

4ng/Lまで下げます。

(pfos・4ng/L、pfoa・4ng/L、2023年12月から実施)



米国がPFASの規制を強めた映画
契機となった事件を描いた映画

● 国連傘下の「ストックホルム条約」が

PFASの製造・使用を原則禁止。

(PFASの内、pfosを2009年に、pfoaを2019年に原則禁止)

● 日本もPFASの製造・使用を原則禁止。

(pfosを2011年に、pfoaを2021年に原則禁止)

● PFAS汚染水を飲み続けければ一定の割合で下記のような病気が発生すると言われています。
(ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議より)

PFASのばく露によるヒトへの毒性

可能性が高いもの
可能性が指摘されているもの



版権情報: EEA(EEA)やNEDO(ナショナル・カーボン・リサイクル財團)より資料作成(2023年6月時点)。
これらの健康影響は、研究が進んでいる段階なので、今後変更になる可能性がある。